

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 6 月 9 日(水) ~ 平成 22 年 6 月 15 日(火))

平成 22 年 6 月 16 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS(イカロス)」について
セイルの展開完了について
平成 22 年 5 月 21 日に打ち上げられた小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS(イカロス)」は、3 日(木)から 10 日(木)にかけてセイルの展開を実施し成功した。また、薄膜太陽電池による発電も確認された。
分離カメラの撮影成功について
15 日(火)、バネにより本体から放出された分離カメラにより、セイルの全景の撮影に成功した。
今後は、太陽光圧をセイルに受けて進む“ソーラーセイル”による航行技術の実証を行う予定。

宇宙開発に関する海外の動向

- KSLV-1 ロケット、打上げに失敗 【韓】
6 月 10 日(木)8 時 01 分(世界標準時)、韓国航空宇宙研究院(KARI)は、ナロ宇宙センターより、KSLV-1 ロケットを打ち上げたが、発射後約 137 秒で通信が途絶し、後にロケット上段に搭載されたカメラの映像より飛行中に爆発したものと判断されている。同ロケットは、北緯約 30 度、東経約 128 度の地点に落下した。この地点は済州島南端方向の、ナロ宇宙センターのある外羅老島(ウェナロド)から約 470 km 地点の公海上と確認されている。現在、韓国とロシア人技術者が、打上げ状況に関する分析を開始しており、14 日から韓露共同の事故調査委員会による原因究明に着手している。原因が究明され次第、調査結果を公表し、第 3 回目の打上げ準備に着手するとしている。3 回目の打上げは、ロケットと科学衛星の製作等に必要な期間等を勘案すると、来年中に行われる見込みとのこと。
- ソユーズ(第 24 次/25 次長期滞在員搭乗)の打上げ成功【露】
6 月 15 日(火)21 時 35 分(世界標準時、以下同じ)、ロシア連邦宇宙局(FSA)はバイコヌール宇宙基地からソユーズロケットによりソユーズ宇宙船の打上げに成功した。同宇宙船は 17 日(木)22 時 35 分に国際宇宙ステーション(ISS)にドッキングし、搭乗する ISS 第 24 次/25 次長期滞在員 3 名(米 2 名・露 1 名)は、約 5 ヶ月間 ISS に滞在する予定。